

薬用植物園かわらばん

いま、こんな草木も楽しめますよ！
草木に囲まれ心も体もリフレッシュ・・・



2019年
10月9日
第73号

ウンシュウミカン（ミカン科）

園内、資材倉庫近く薬木区西エリアで、緑色の果実がいくつか付いているのが見られます。ミカンといえばウンシュウミカンを指すほどポピュラーで、関東以南の各地で栽培されています。中国の温州にちなんで名付けられましたが、実際は温州原産ではなく、室町時代に東南アジアから渡来し、鹿児島で偶然に発生した品種が、園芸で今日の栽培種の元で、日本原産です。秋にオレンジ色に色づきますが、通常種子は出来ません。

外果皮を陰干したものを「陳皮（チンピ）」という生薬として使用します。

「陳」の字は、古いものほど良いとされていて、生薬として使用するのは1～3年程度、干したものの、それ以上のものは高級食材として使用されます。陳皮は理気薬に分類され、鎮静作用や消化管運動の促進を期待した漢方薬に配合されます。また、果皮を浴湯料にも利用します。



コムラサキ（シソ科）

薬草園の管理棟側入口から入ってすぐ左側に、きれいな紫色の実が見られます。これは、ムラサキシキブの近縁種のコムラサキです。ムラサキシキブは日本では低山の森林でよく見かけますが、コムラサキは園芸品として庭先などでよく目にするものの、野生のものは絶滅寸前と言われています。見分け方は、コムラサキは枝が垂れませんが、ムラサキシキブは垂れません。また、コムラサキは実がびっしり付いてムラサキシキブより見栄えが良いです。

コムラサキの葉を中国では「紫珠（zǐzhū）」という名の生薬として用い、収斂止血、清熱解毒の薬能があるとされます。日本では民間薬として葉の汁を皮膚病の患部に塗ったりします。

今、こんな草木が楽しめます！！